

2016年10月27日

**食道狭窄に対する内視鏡治療で使用する医療用処置具
食道拡張用バルーンを発売
～拡大が予想される日本の消化管狭窄市場に参入～**

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、医療事業・消化器科の新製品として、食道拡張用バルーンを2016年11月9日から日本国内で発売します。これを皮切りに、拡大が予想される日本の消化管狭窄市場で事業拡大を目指します。

今回発売する食道拡張用バルーン「EZDilate[®]」は、食道に起きた狭窄を治療するために使用される処置具製品です。内視鏡の鉗子口から本製品を挿入し、バルーンが狭窄部まで到達したところでインフレーターを使用してバルーンを膨張させ、狭窄部を拡張します。

なお、本製品は、11月3日(木・祝)～6日(日)に神戸コンベンションセンターで開催される「第24回日本消化器関連学会週間(JDDW)」に出展されます。

※「EZDilate」は、販売名「食道用バルーンダイレクタ」および今後発売される消化管拡張用バルーンダイレクタ(オリンパス製)の愛称です。

●発売の概要(国内)

販売名	通称	発売時期
食道用バルーンダイレクタ	EZDilate (Fixed Wire タイプ)	2016年11月9日
バルーンダイレーター用 インフレーションデバイス MAJ-1740	インフレーター	

●主な特長

1. 「ビジュアルセンターマーカー」により、狭窄部とバルーンの正確な位置合わせをサポート
2. バルーン両端の丸みを帯びた形状により、内視鏡からのバルーン内の広い視野の確保に貢献
3. 狭窄度合いに合わせたラインアップ展開により、より低侵襲な手技をサポート



【食道用バルーンダイレクタ】



【バルーンダイレーター用インフレーションデバイス MAJ-1740】

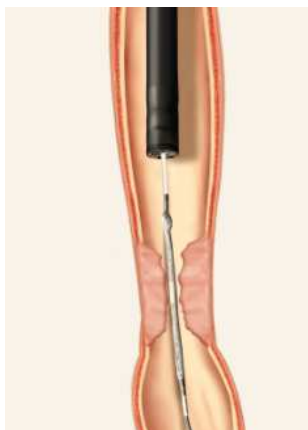
本製品の製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ㈱です。

●ラインアップ

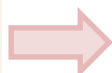
適用部位や狭窄の度合いに合わせてバルーンの径を使い分けられるよう、6サイズのラインアップを揃えました。

販売名・型式		カテーテル有効長	バルーン有効長	バルーン拡張径 (mm)
食道用 バルーンダイレータ	BD-400P-0880	1900 mm	90 mm	6.0-7.0-8.0
	BD-400P-1080			8.5-9.5-10.5
	BD-400P-1380		80 mm	11.0-12.0-13.0
	BD-400P-1580			13.5-14.5-15.5
	BD-400P-1880			16.0-17.0-18.0
	BD-400P-2080			18.0-19.0-20.0

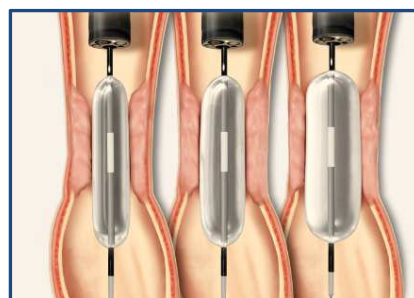
●挿入イメージ図



内視鏡の鉗子口から狭窄部にバルーンダイレータを挿入する。



インフレーターを使ってバルーンを膨らませる。バルーン中央が狭窄部中央になるように位置を固定する。



インフレーターから加える圧力を変えて、バルーン径を3段階に調整可能。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。